

第1回武雄市民病院移譲先選考委員会（概要）

平成20年6月17日
午後7時30分～午後9時40分

（応募者の公開）

- 委員長 応募があった場合の応募者は、公表しないのではないんですか。
事務局 私どもの判断で、通常は応募先は公表しないんですが、アンケートをとり、氏名を公表することは差し支えないというのでありましたので、公表に踏み切った。
委員長 一般的にはしないですよ。第1順位のことを公表しますよね。

（審査基準）

- 委員長 事業の継続性には民間が一番望ましいということですね。
事務局 移譲先が決まれば基本的な合意、契約をします。その中でうたうのが基本だろうと思います。
委員長 国立病院の移譲のときは、10年間は事業内容とか場所の移動なしにやりなさいと、要求しているわけですよ。
委員 公的な要素を背負った民間という位置づけになると思うんですね。市民病院の後を継がれるという公的な部分を随伴するといったこともあると思うので
委員長 市民が不安を覚えないように、10年以上は入れたい。

（情報の公開）

- 委員 選考過程の透明化と情報公開で、選考委員会の情報公開を徹底しなければ、市民に不信をもたれる。情報開示、選考過程の透明化をどのように考えているのでしょうか。
事務局 情報の公開については、選考委員会の中でご意見を伺って最終的に決定をさせていただければと考えております。
委員長 審議中は委員名は公開しない。終了後、委員名公表はいいということ。
委員長 終了後、委員を解職された後、委員名と選考委員の所属は、医療関係者、経済関係者とそういう分野だからそういうようにしたらどうでしょう。
会議の傍聴（は否）、これは審査ですからね。議事録は、どうですか。固有名詞は載せないようにして、委員、委員長だけにしましょう。

（評価結果）

- 委員 礼節を考えると、落ちられた法人の点数まで出す必要があるんですかねえ。失礼のような気がしますね。
委員 負けたほうが次点なんですね。優先交渉権者との交渉がうまくいかなかったときは次点と交渉するわけですから、その配慮は必要ですよ。
事務局 すでに2法人とも実績のある法人なので、大きく差がつくことはないかと思っているんですが。
委員長 応募した人にはこの評価シートを戻すということでどうだろうか。パブリックに公開するかどうかは応募者に任せる。公開するのは一位の点数のみとする。これでいいですか。
委員 よい。

（公開プレゼンテーション）

- 事務局 資料の5日程のところ、審査日程の第2回目の備考欄でございますが、公平を期すために、審査委員会としてのプレゼンテーションは通常どおりしっかりやっていただいて、市民の皆様にご覧いただくために公開プレゼンテーションを企画したいと考えています。
委員長 市民が受けた印象とわれわれが下した結果が食い違っていたらどうか。
委員 価値観がそれぞれ違いますから。
委員長 審査委員会としては了承したいと思います。

(審査基準)

- 委員長 5点はこういうもんだ、1点はこういうもんだ、という定義があるんですか。
- 事務局 8ページの下のほうにあります。
- 委員 それぞれの委員として責任において、そこは良識を信じて、自由に判断できるという空間は残してもらわないと。
- 委員長 委員会としては点数はつけず、各委員が出した点を総計するということで。
- 委員長 そうしておきましょう。皆さんに了解してもらうためにそうしてもらいましょう。